

大学と企業が国際産学連携

日米AIパートナーシッププロジェクトオフセレモニー

日米AIパートナーシッププロジェクトオフセレモニーが4月23日、東京都文京区の筑波大学東京キャンパスで執り行われた。

セレモニーは、昨年4月に基本合意を得た日米AIパートナーシップの本格始動を宣言するもの。筑波大学と米国・ワシントン大学、NVIDIAとAmazonが参画する同パートナーシップでは、10年間で約75億円の支援がなされ、AI分野における先端的研究、

高度人材育成、アントレプレナーシップ等の活動が行われる。

はじめに、筑波大学の永田恭介学長が挨拶し、多くの来賓や関係者の来場に感謝を述べた。続いて、来賓の在日米国大使館のダニエル・アーンスト公使、文部科学省の北山浩士国際統括官、経済産業省の奥家敏和商務情報政策局審議官からそれぞれ祝辞が述べられた。

次に、筑波大学人工知能科学センターの櫻井鉄也センター長がパートナーシップの概要を説明した。パートナーシップにより、共同研究プロジェクト「Cross-Pacific AI Initiative」(XIPAI)を立ち上げたことを発表。XIPAIでは、リサーチプロジェクト、コミュニティプロジェクトの2つを柱とし、5月から開始する。

コミュニティプロジェクトでは、学生支援、アウトリーチ活動として、博士課程学生の支援やハンズオンセミナー等を行う。

リサーチプロジェクトでは、生産性向上や労働力減少といった社会課題の解決や、基盤技術などAI分野のテーマを設定して、学内で研究提案を募集。1プロジェクトごとに2年間で25万〜80万ドル支援する。

さらに、筑波大学キャンパスにおいて建築するAI教育研究棟(2026年12月竣工予定)を活用し、XIPAI等の国際産学連携の拠点を整備するとしている。



(前列左2人目から)ゲイル・クリステンセンワシントン大学副学長、櫻井センター長、アーンスト公使、永田学長、北山国際統括官、NVIDIA、Amazon関係者ら



阿部文科大臣㊟、リサ・スーAMD会長兼CEO㊟、赤松文科政務官(4月18日、文科省で)



阿部文科大臣㊟、ジェンソン・ファンNVIDIA創業者兼CEO㊟、赤松文科政務官(4月22日、文科省で)

この間、米国の半導体メーカー幹部による文部科学省訪問が相次いだ。18日にはAMD会長兼CEOのリサ・スー氏、22日にはNVIDIAの創業者兼CEOのジェンソン・ファン氏が阿部俊子大臣を表敬。CPU(中央処理装置)やGPU(画像処理装置)等の計算資源に関する意見交換が行われた。